

FR型分解手順

- 1) ホースコネクタ⑬、コネクタパッキン⑭、ドレンプラグ⑧、ドレenchューブ⑮六角穴付止メネジ⑯を外します。
- 2) シリンダケース①、シリンダケースフタ②のと同じ合せ部にマーカー等で合いマークを付け、六角穴付ボルト⑰を外し、シリンダケースフタ②を取り外して下さい。
- 3) シリンダケース①をギア抜き工具等を利用して外して下さい。
※これより以後の分解は位置及び振れ精度等重要な箇所ですから、同じ合わせ部にはマーカー等で合いマークを付け無理な力が加わらないよう、又キズ等を付けないよう注意して作業して下さい。
又必要な時以外、止メナット⑦、ディストリビューター⑥、ベアリング⑳ は外さないで下さい。
- 4) ディストリビューター⑥を基準にシリンダフタ④(取付端面・外周)の振れを確認・記録して下さい。
六角穴付ボルト⑱を外し、シリンダフタ④とシリンダ③及びピストン⑤を分離して下さい。
- 5) ディストリビューター⑥の分解
六角穴付止メネジ⑳を緩め、止メナット⑦を外して下さい。
後側ベアリング㉑と共にディストリビューター⑥をギア抜き工具等を利用して抜いて下さい。

再組立

分解手順と逆の手順で下記の項目に注意して組込んで下さい。

- 各部品を洗浄しゴミやキズ等の有無を確認し除去して下さい。
- Oリングや摺動部には潤滑油を塗布して下さい。
- 同じ合せ部の位置及び振れ精度は、忠実に再現して下さい。
- ボルトの締め付けは、当社規定のトルクで確実に行って下さい。(表1)
- コネクタパッキン⑭は、座の中心へ正しく入れ締付けて下さい。
(座にのり上げた状態で組込むと油洩れします。)
又、一度使用したパッキンは硬化する為再使用できません。
新しいものとお取り換え下さい。
- シリンダケース①シリンダケースフタ②の同じ合せ面には、液状パッキンを塗布して下さい。
- Oリングやパッキンは消耗品です。(P21)

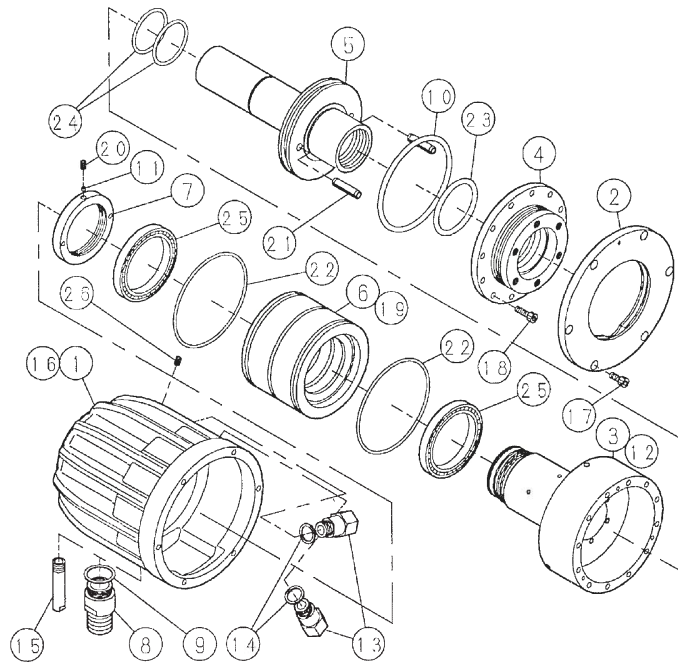
シリンダをより長くご使用していただく為、2000時間の使用又は、20万回の作動ごとに分解点検を行い、各部をチェックして下さい。その際Oリングやパッキン等の消耗品を交換して下さい。

ボルト締め付けトルク表 表1

ボルトサイズ	規定トルク	
M5	0.7kgf・m	6.9Nm
M6	1.2kgf・m	11.76Nm
M8	3.4kgf・m	33.34Nm
M10	6.8kgf・m	66.68Nm

FR型シリンダ パーツリスト

符号	品名	数量
1	シリンダケース	1
2	シリンダケースフタ	1
3	シリンダ	1
4	シリンダフタ	1
5	ピストン	1
6	ディストリビューター	1
7	止メナット	1
8	ドレーンプラグ	1
9	プラグパッキン	1
10	Oリング	1
11	当金	1
12	プラグ	6
13	ホースコネクター	2
14	コネクターパッキン	2
15	ドレーンチューブ	1
16	銘板	1
17	六角穴付ボルト	6
18	六角穴付ボルト	12
19	六角穴付止メネジ平先	6
20	六角穴付止メネジ平先	1
21	スプリングピン	2
22	Oリング	2
23	Oリング	1
24	Oリング	2
25	ボールベアリング	2
26	六角穴付止メネジ	1



FR型油圧シリンダ 消耗品

符号	部品名	25FR	35FR	45FRH	45FR	52FR	個数
10	Oリング	JIS B2401 P80	JIS B2401 P100		AS568-426		1
14	パッキン	NIKKO NHC2127					2
22	Oリング	JIS B2401 G95	JIS B2401 G105		JIS B2401 P125		2
23	Oリング	JIS B2401 P36 1個	JIS B2401 P55 1個	JIS B2401 P56 2個	AS568-331 1個	JIS B2401 P67 2個	表中
24	Oリング	JIS B2401 P36 2個	JIS B2401 P46 2個	JIS B2401 P55 1個	AS568-331 2個	JIS B2401 P62 2個	表中

符号	部品名	65FRH	65FR-30	65FR-35	70FR	個数
10	Oリング	AS568-426	JIS B2401 P145			1
14	パッキン	NIKKO NHC2127				2
22	Oリング	JIS B2401 G130	JIS B2401 G155			2
23	Oリング	JIS B2401 P80 2個	JIS B2401 P80 1個		JIS B2401 P85 2個	表中
24	Oリング	JIS B2401 P80 1個	JIS B2401 P80 2個			表中